

経営比較分析表

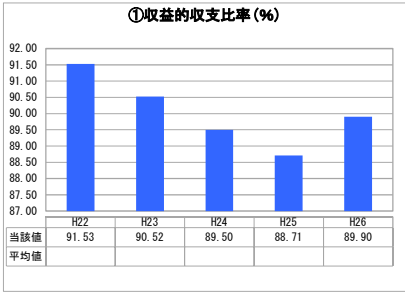
広島県 三次市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K3	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	2.09	100.00	5,292

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
55,302	778.14	71.07
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,150	0.73	1,575.34

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成26年度全国平均

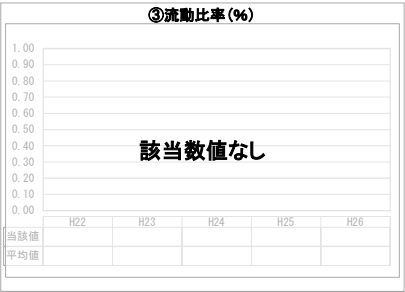
1. 経営の健全性・効率性



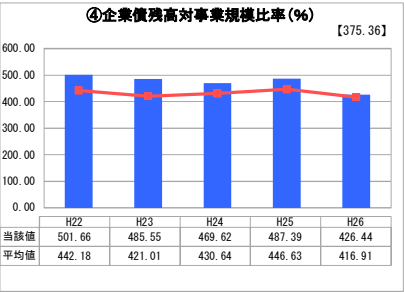
「単年度の収支」



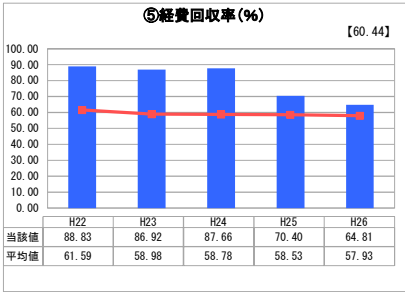
「累積欠損」



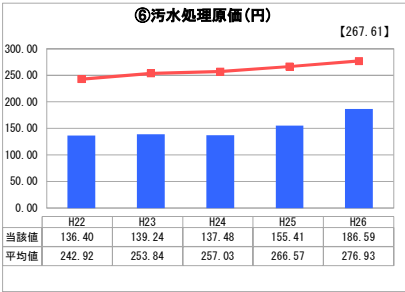
「支払能力」



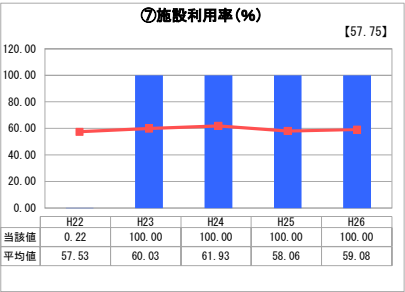
「債務残高」



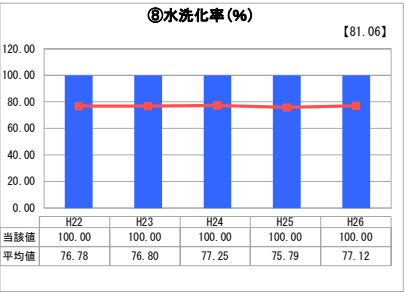
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

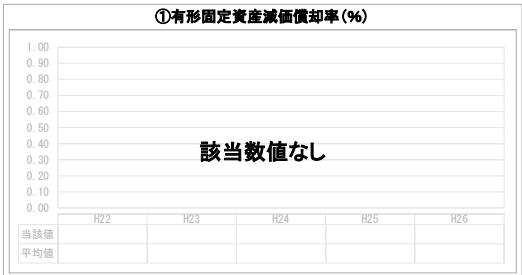


「施設の効率性」

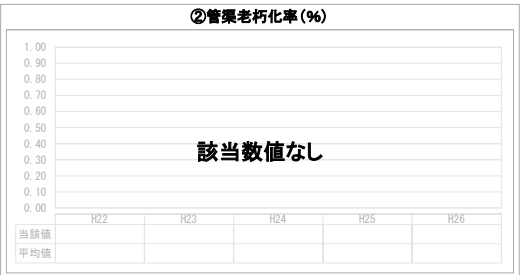


「使用料対象の捕捉」

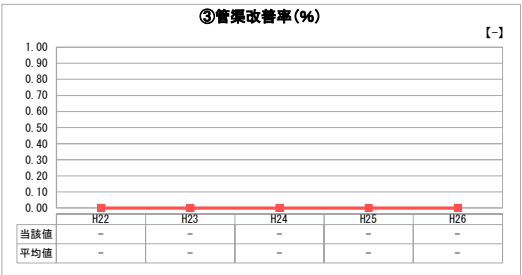
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

●収益の収支比率、企業債残高対事業規模比率
平成26年度は、『収益の収支比率』が90%程度であり、『企業債残高対事業規模比率』は、当該団体値に、本来控除すべき一般会計の公費負担分を含めて算出しているため、平均値と同様の比率に見えるが、実数値は類似団体平均値の半分程度である。今後も、一層の改善に努める。

●経費回収率、汚水処理原価
汚水処理原価が平均値に比べ低いのは、施設が新しいため、汚水処理費用が安価であると考えられる。今後、浄化槽の更新時期が一致に到来するため、計画的に修繕・更新を進め、経常経費の節減と適正な経費回収に努める。

●施設利用率、水洗化率
施設利用率や水洗化率は平均値に比べ高い数値にある。

2. 老朽化の状況について

平成4年に設置したものが一番古く、今後、一致に更新時期が到来するため、計画的な修繕・更新に努める。

全体総括

今後、使用料収入の減少や更新費用の増加が見込まれるため、経常経費の節減に努め、計画的な更新を進めていく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益の収支比率の類似団体平均等を表示していません。
※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。